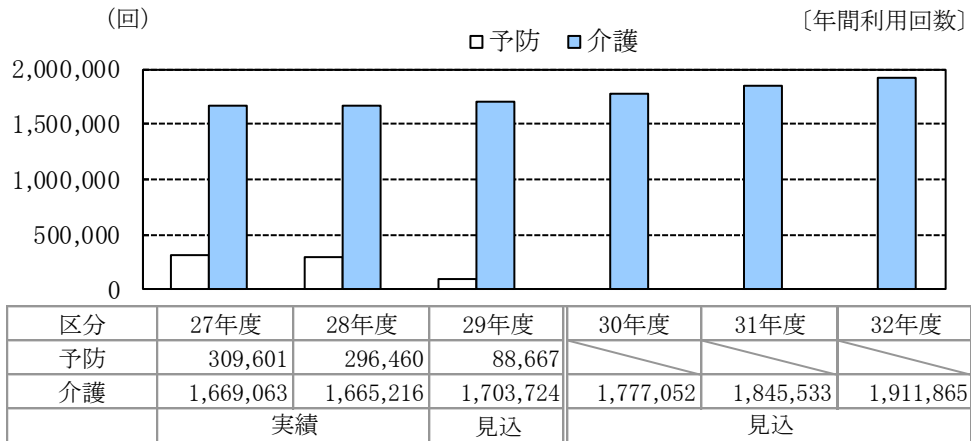


# 1 各年度の介護（予防）サービスの種類ごとの量の見込み

## (1) 居宅サービス

### ① 訪問介護

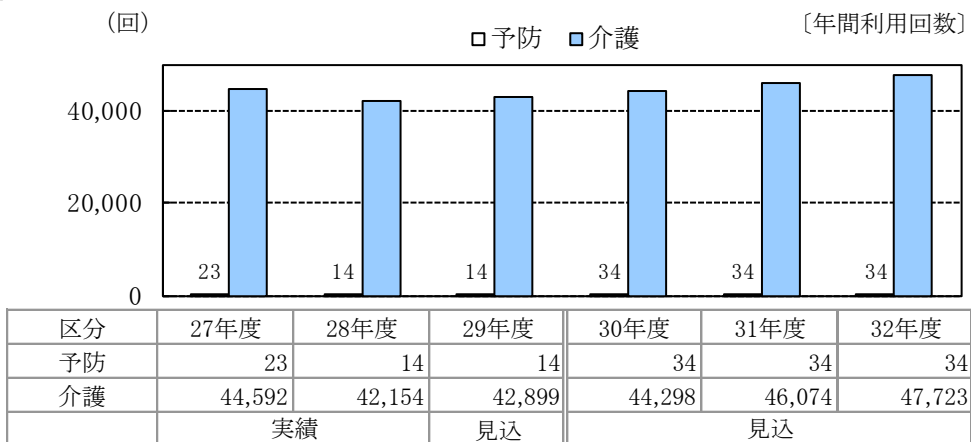


要介護認定者の増加に応じて利用の増加が見込まれます。

※29年度以降、介護予防（要支援）は総合事業（地域支援事業）へ移行しています

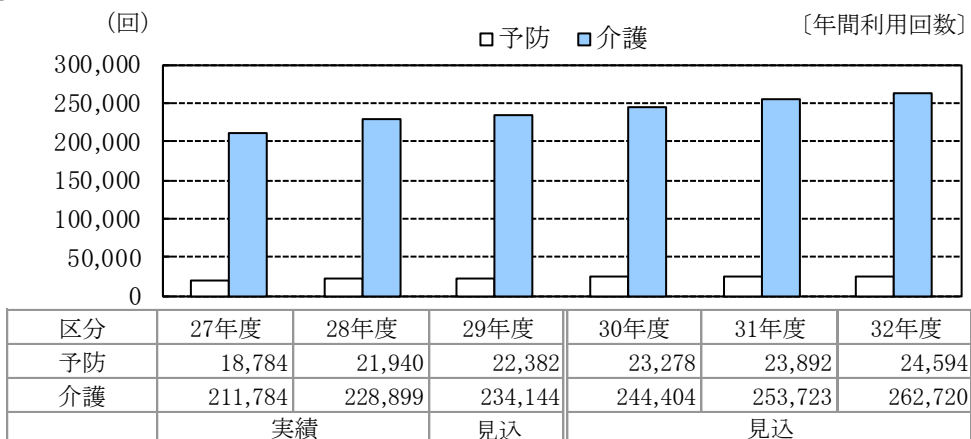
(29年度：経過措置 30年度以降：完全移行)

### ② 訪問入浴介護



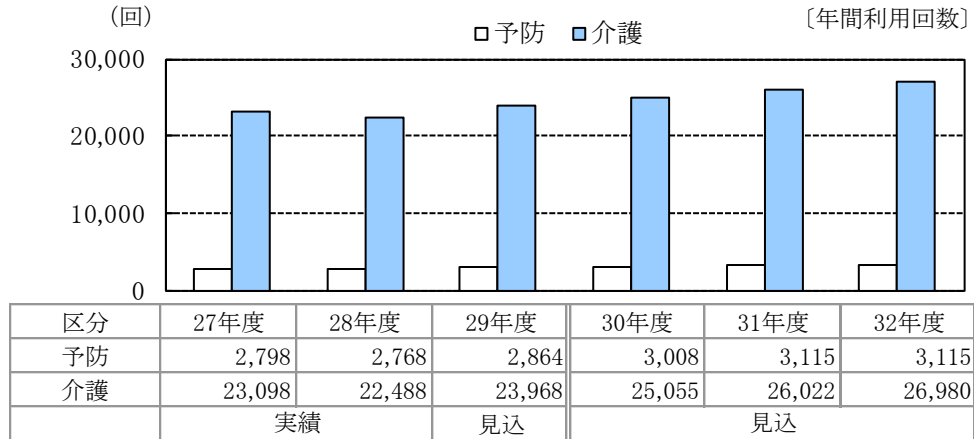
要介護4、5の方の利用が多く、中重度者の増加に応じて利用の増加が見込まれます。

### ③ 訪問看護



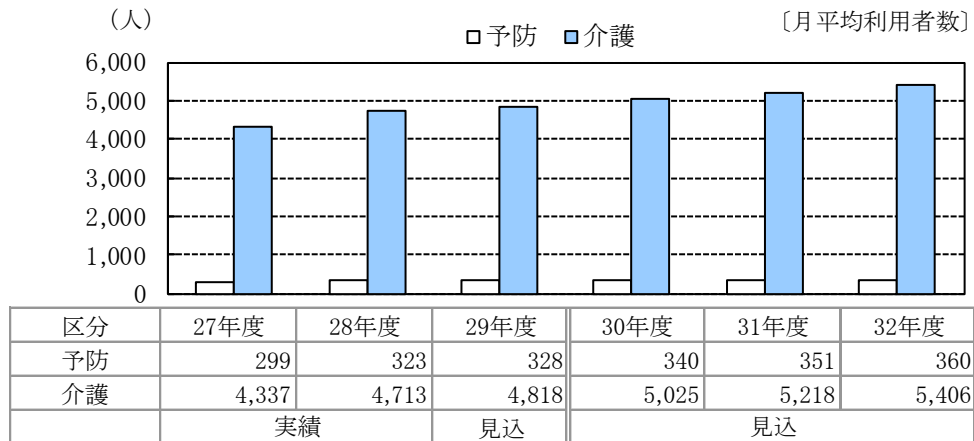
要介護1～5の方の利用が多く、中重度者の増加に応じて利用の増加が見込まれます。

#### ④ 訪問リハビリテーション



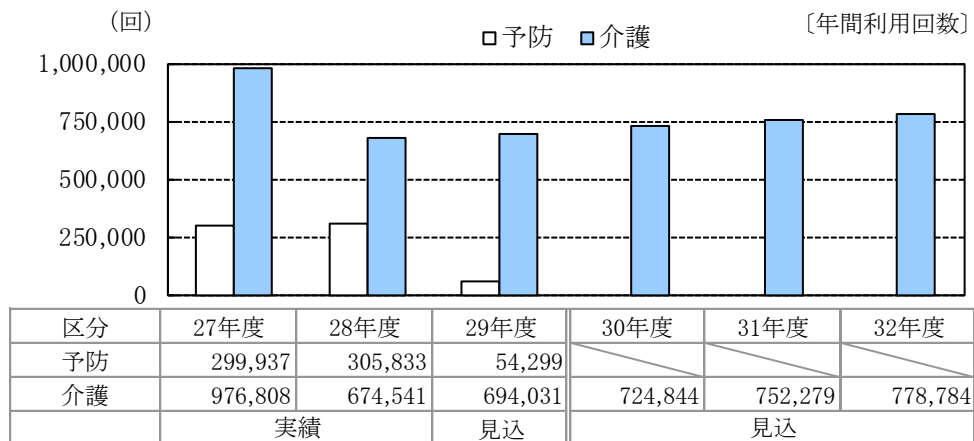
要介護1～5方の利用が多く、中重度者の増加に応じて利用の増加が見込まれます。

#### ⑤ 居宅療養管理指導



要介護1～5の方の利用が多く、要介護認定者の増加に応じて利用の増加が見込まれます。

#### ⑥ 通所介護



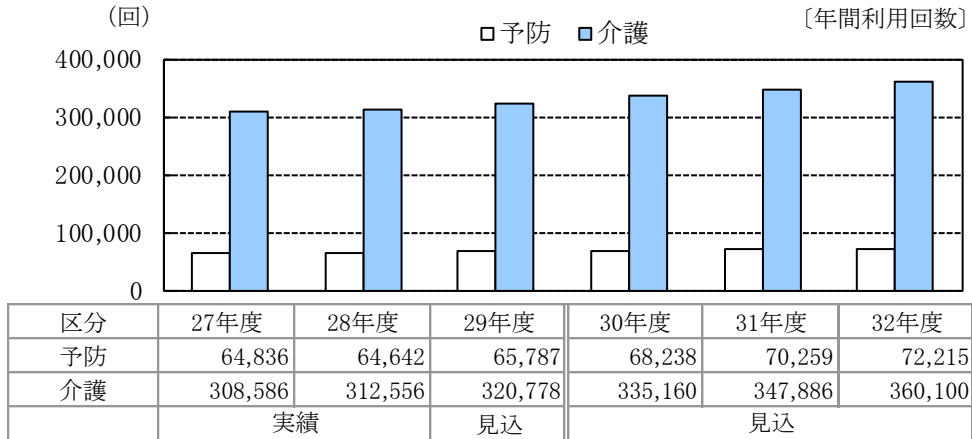
要介護認定者の増加に応じて利用の増加が見込まれます。

※27年度から28年度にかけて利用回数が減少したのは、地域密着型サービスへの移行によるもの

※29年度以降、介護予防（要支援）は総合事業（地域支援事業）へ移行しています

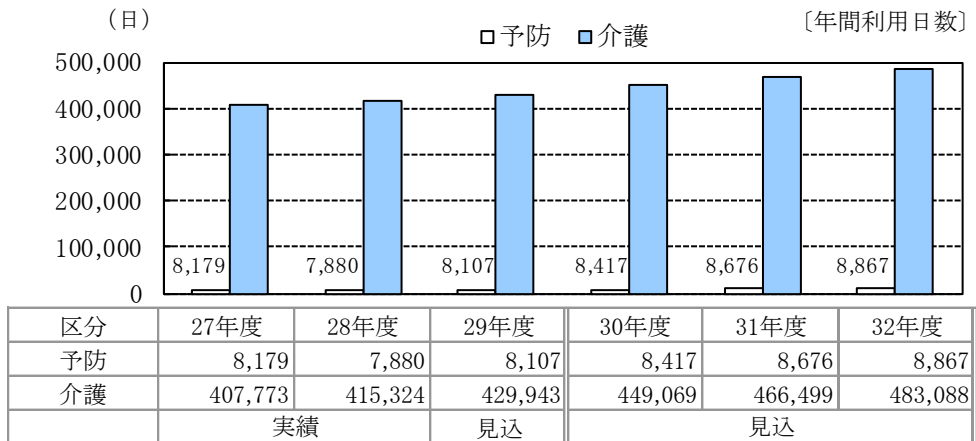
（29年度：経過措置 30年度以降：完全移行）

⑦ 通所リハビリテーション



要介護1、2の方の利用が多く、軽度者の増加に応じて利用の増加が見込まれます。

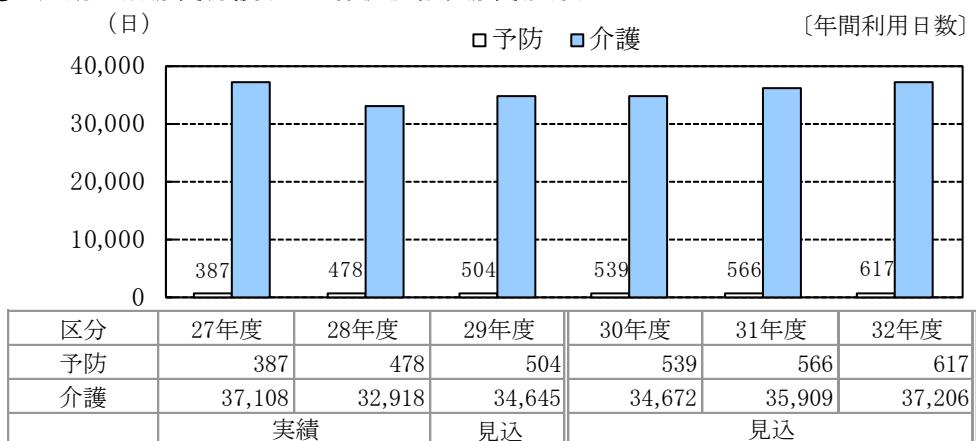
⑧ 短期入所生活介護(特別養護老人ホーム)



要介護1～4の方の利用が多い状況です。

今後、施設の整備に応じて利用の増加が見込まれます。

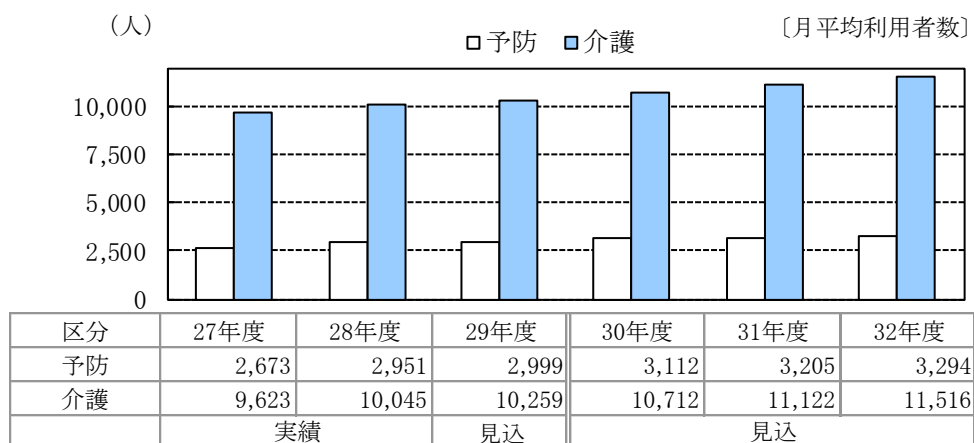
⑨ 短期入所療養介護(老人保健施設、療養病床)



要介護2～4の方の利用が多い状況です。

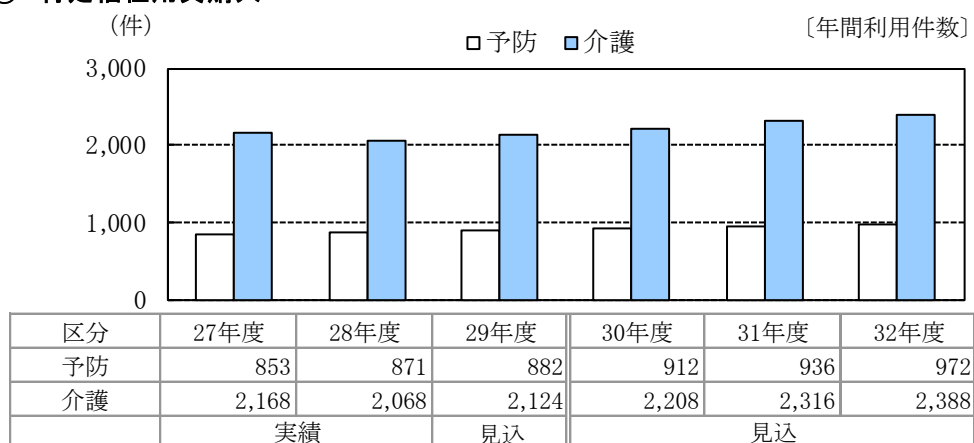
今後、施設の整備に応じて利用の増加が見込まれます。

## ⑩ 福祉用具貸与



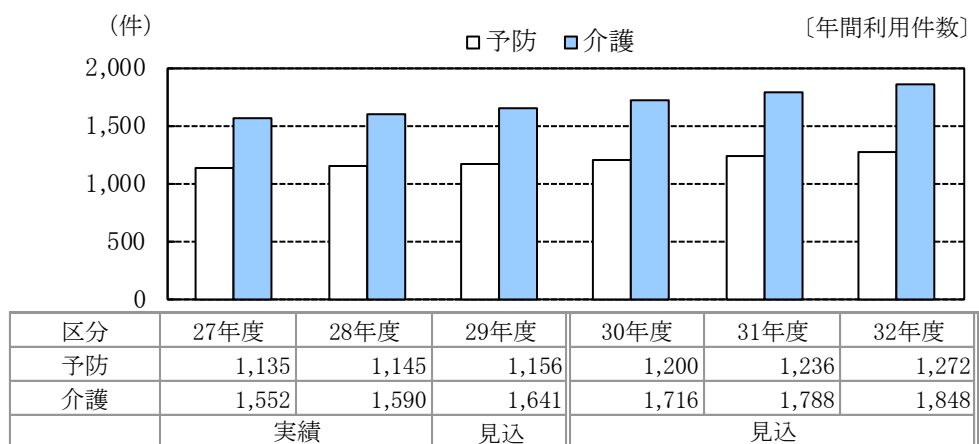
要介護1、2の方の利用が多く、軽度者の増加に応じて利用の増加が見込まれます。

## ⑪ 特定福祉用具購入



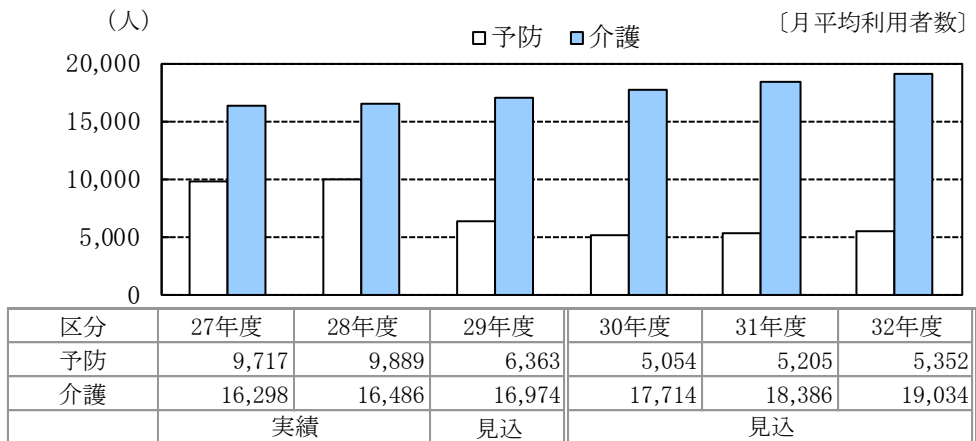
要支援1及び要介護1、2の方の利用が多く、軽度者の増加に応じて利用の増加が見込まれます。

## (2) 住宅改修



要支援1、要介護1の方の利用が多く、軽度者の増加に応じて利用の増加が見込まれます。

### (3) 居宅介護支援

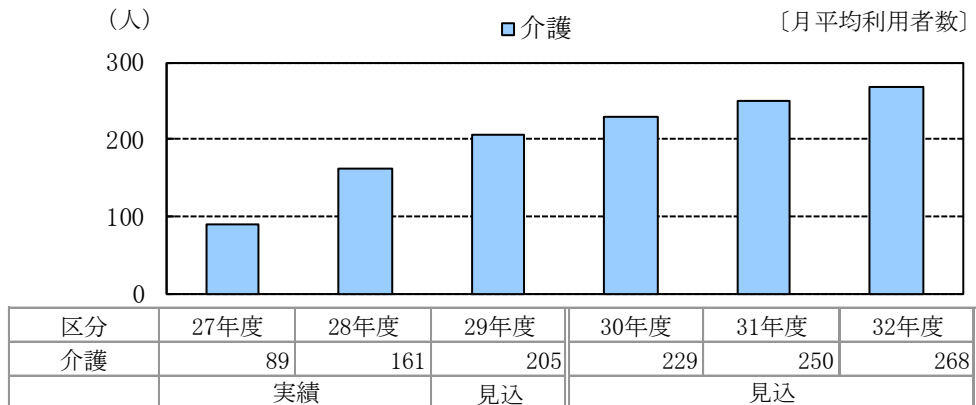


居宅サービス利用者の増加に応じて増加が見込まれます。

※29年度以降、介護予防(要支援)については、介護予防訪問介護、介護予防通所介護の総合事業(地域支援事業)への移行に伴い減少しています

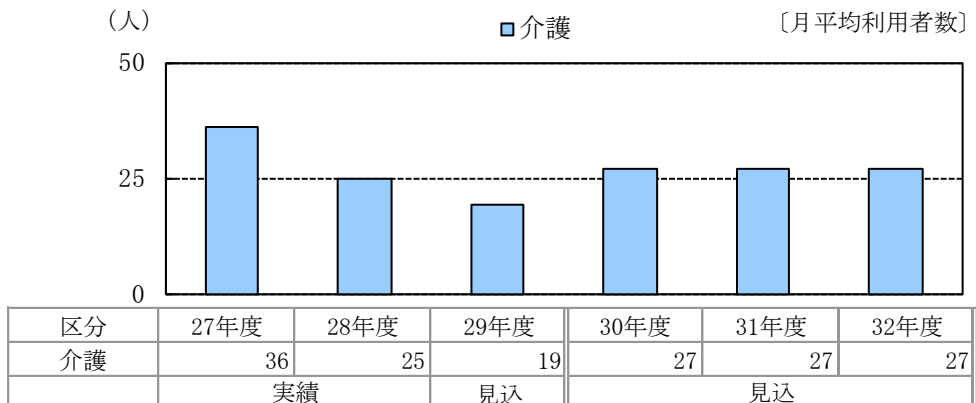
### (4) 地域密着型サービス

#### ① 定期巡回・随時対応型訪問介護看護



指定事業所の増加に応じて利用の増加が見込まれます。

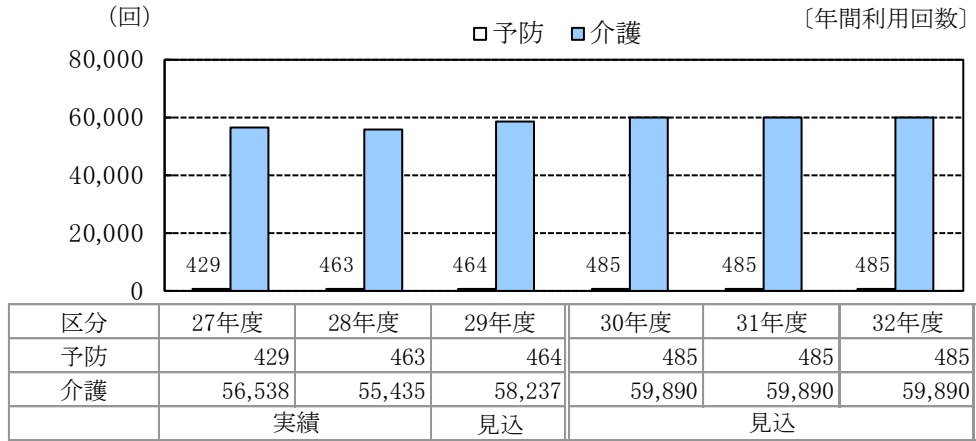
#### ② 夜間対応型訪問介護



要介護1、2の方の利用が多い状況です。

事業者の参入状況から、今後、利用は横ばいで推移すると見込んでいます。

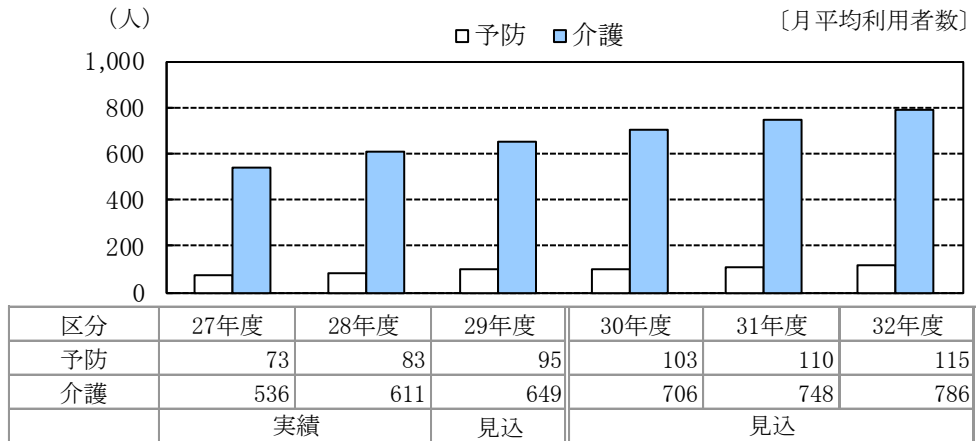
③ 認知症対応型通所介護



要介護1～3の方の利用が多い状況です。

事業者の参入状況から、今後、利用は横ばいで推移すると見込んでいます。

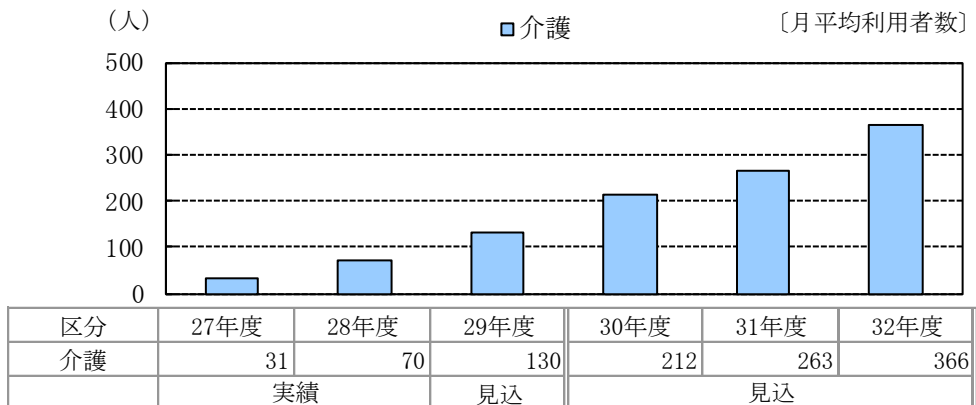
④ 小規模多機能型居宅介護



要介護1、2の方の利用が多い状況です。

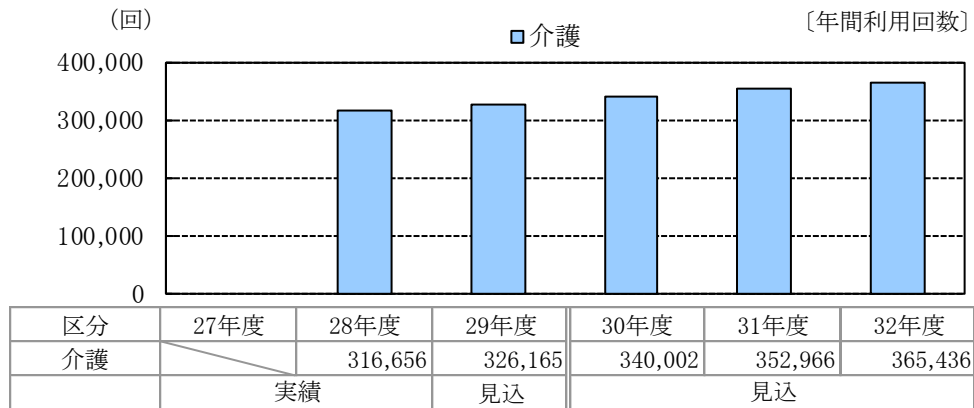
今後、指定事業所の増加に応じて利用の増加が見込まれます。

⑤ 看護小規模多機能型居宅介護



指定事業所の増加に応じて利用の増加が見込まれます。

⑥ 地域密着型通所介護



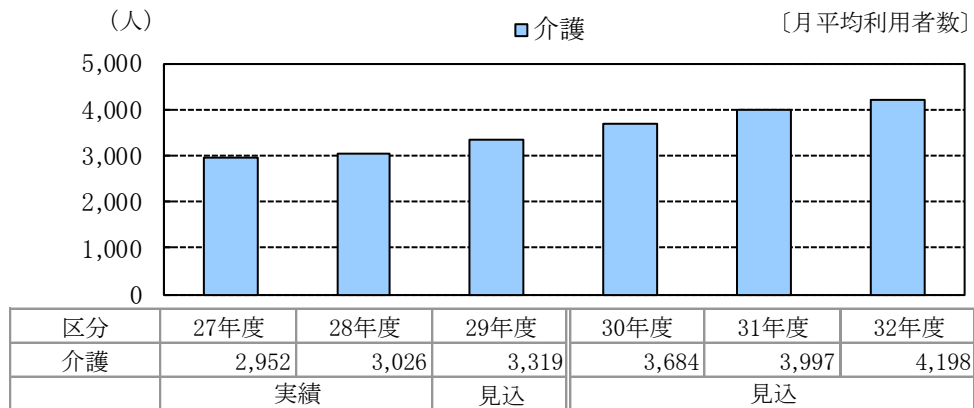
要介護1、2の方の利用が多く、軽度者の増加に応じて利用の増加が見込まれます。

※利用定員が18人以下の事業所が提供する通所介護サービスです

※平成28年度より、居宅サービスの通所介護から移行したものの

(5) 施設・居住系サービス

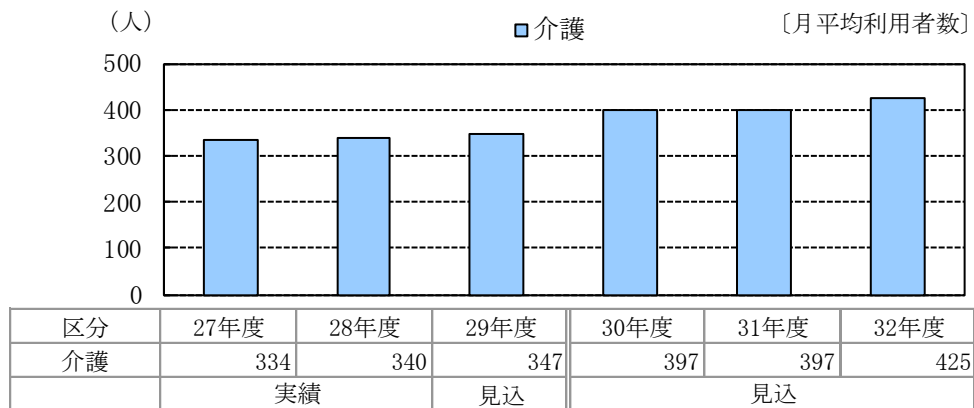
① 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)



要介護4、5の方の利用が多い状況です。

今後、計画に沿った施設の整備に応じて利用の増加が見込まれます。

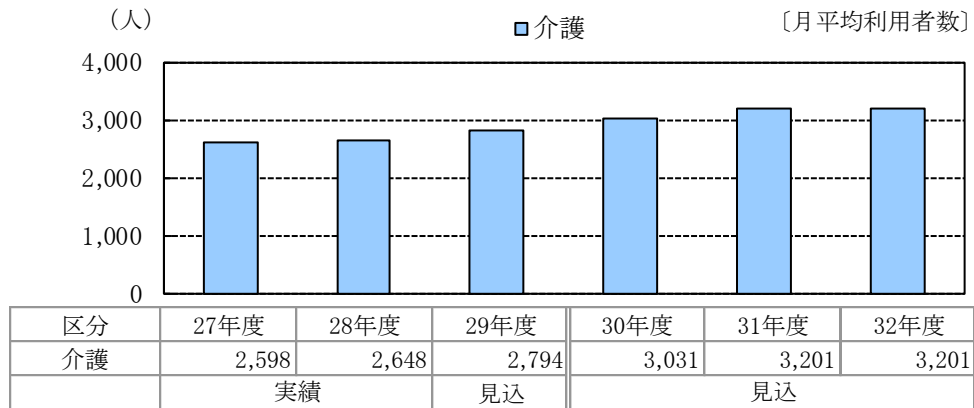
② 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護(入所定員が29名以下の特別養護老人ホーム)



要介護3～5の方の利用が多い状況です。

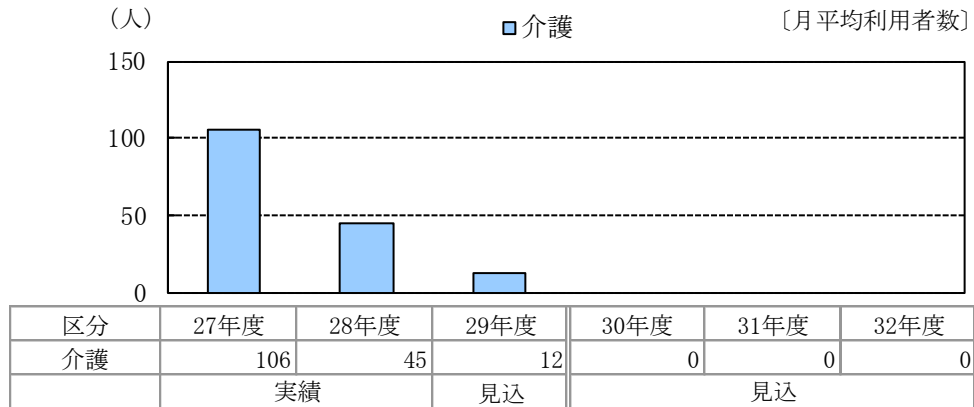
今後、計画に沿った施設の整備に応じて利用の増加が見込まれます。

③ 介護老人保健施設



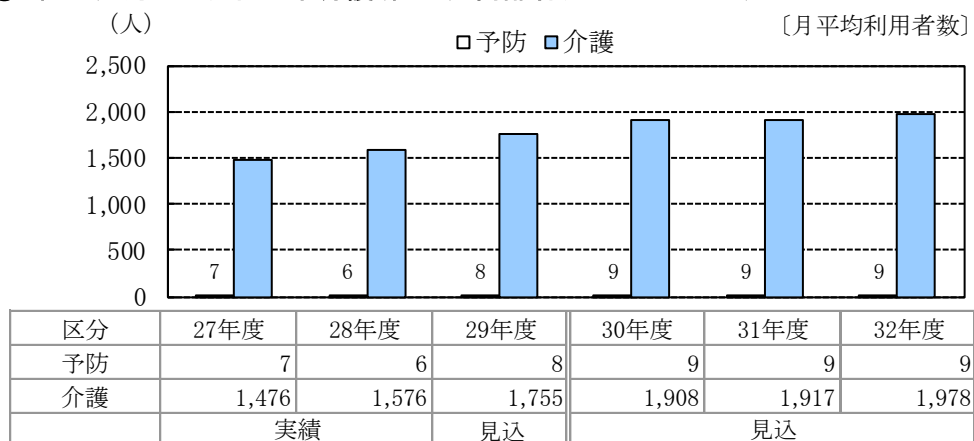
要介護3、4の方の利用が多い状況です。  
今後、計画に沿った施設の整備に応じて利用の増加が見込まれます。

④ 介護医療院(介護療養型医療施設を含む)



介護療養型医療施設(介護療養病床：1施設)は、30年度から介護老人保健施設へ転換する予定です。また、現在のところ介護医療院の開所は見込まれておりません。

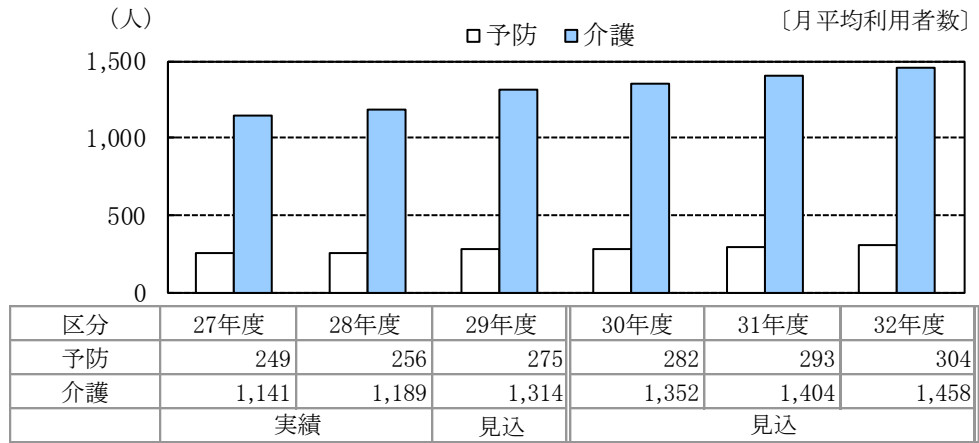
⑤ 認知症対応型共同生活介護(認知症高齢者グループホーム)



要介護1～3の方の利用が多い状況です。  
今後、計画に沿った施設の整備に応じて利用の増加が見込まれます。



⑥ 特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム等)



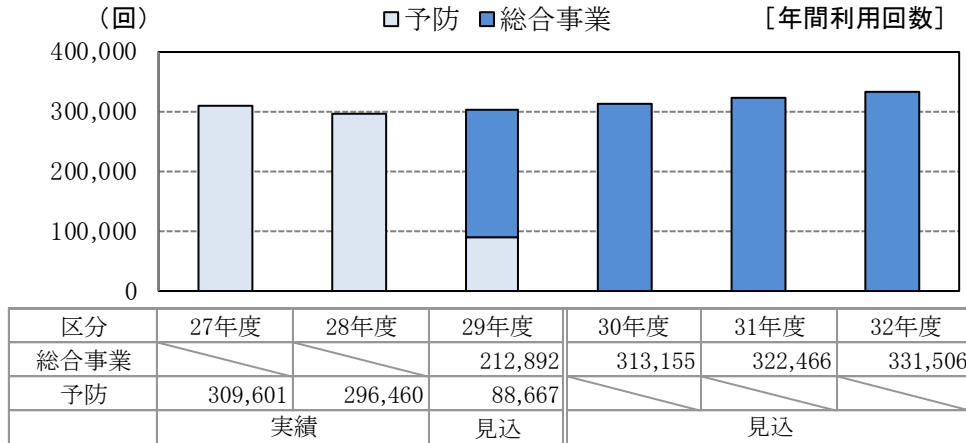
要支援、要介護とも一定の利用があります。

今後、計画に沿った施設の整備に応じて利用の増加が見込まれます。

## 2 地域支援事業の種類ごとの量の見込み

### 【介護予防・日常生活支援総合事業】

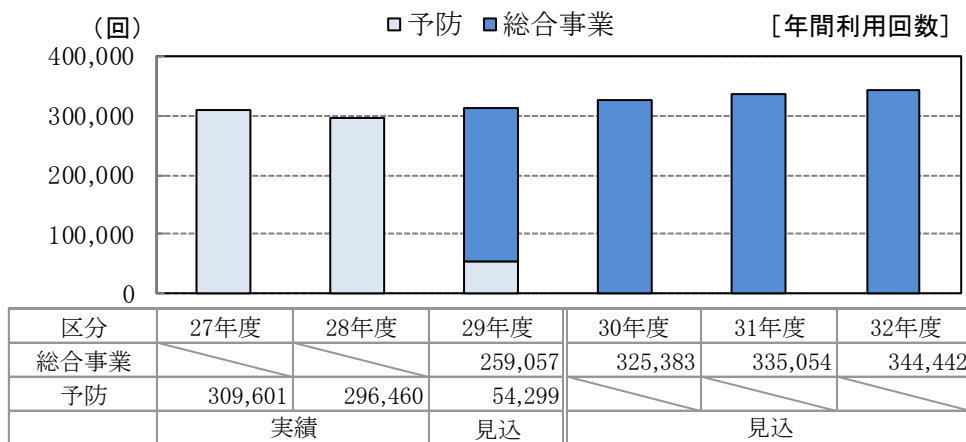
#### (1) 訪問介護型・生活支援訪問型サービス（現行相当・緩和した基準によるサービス）



従来の介護予防訪問介護を平成 29 年度より総合事業に移行して実施しています。高齢者人口の増加に伴い、利用者数の増加を見込んでいます。

※29年度：経過措置 30年度以降：完全移行

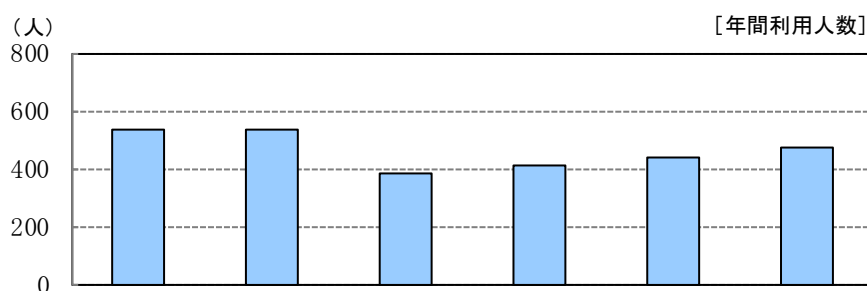
#### (2) 通所介護型・生活支援通所型サービス（現行相当・緩和した基準によるサービス）



従来の介護予防通所介護を平成 29 年度より総合事業に移行して実施しています。高齢者人口の増加に伴い、利用者数の増加を見込んでいます。

※29年度：経過措置 30年度以降：完全移行

### (3) 通所型短期集中予防サービス（元気応援教室）

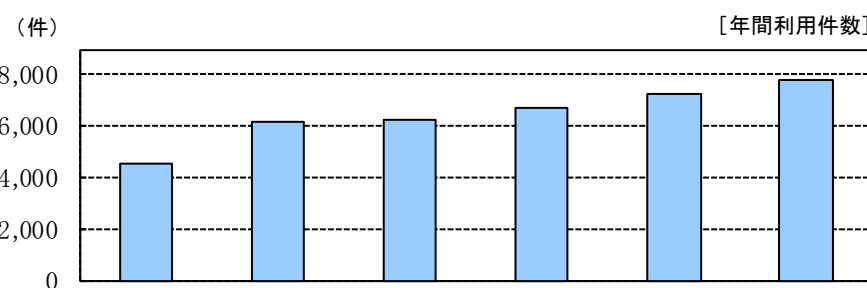


区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
利用者数 (人/年)	532	534	380	410	440	470
	実績		見込	見込		

従来の二次予防事業における通所型介護予防事業を平成 29 年度より総合事業に移行して実施しています。サービスメニューの多様化等の要因により、総合事業を開始した平成 29 年度は利用者数の減少が見込まれますが、今後は高齢者数の増加に伴い利用者数の増加を見込んでいます。

### 【任意事業】

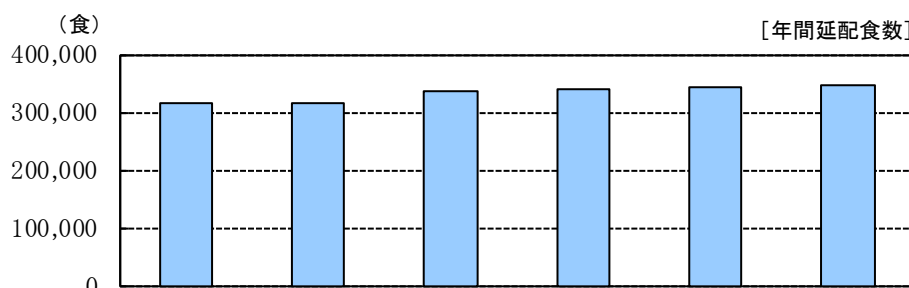
#### (1) 介護用品支給事業



区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
利用件数 (件/年)	4,550	6,159	6,252	6,734	7,253	7,812
	実績		見込	見込		

これまでの利用状況や、要介護等認定者の推計結果を考慮した上で、利用件数の増加を見込んでいます。

#### (2) 食の自立支援サービス事業



区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
延配食数 (食/年)	313,805	315,171	336,749	340,117	343,518	346,953
	実績		見込	見込		

これまでの利用状況や、要介護等認定者の推計結果を考慮した上で、配食数の増加を見込んでいます。